



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 庄藏

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古木 光次

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,179	34.1	1,734	3.8	1,499	1.0	912	9.2
24年3月期第1四半期	12,062	88.9	1,671	—	1,485	—	835	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.80	—
24年3月期第1四半期	22.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	122,827	43,461	35.4
24年3月期	127,206	43,299	34.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 43,461百万円 24年3月期 43,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,800	11.0	2,300	△31.6	2,000	△28.0	1,200	△23.4	32.61
通期	71,600	15.1	6,000	△6.9	5,500	△8.2	3,200	2.1	86.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	36,800,000 株	24年3月期	36,800,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,194 株	24年3月期	1,194 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	36,798,806 株	24年3月期1Q	36,798,806 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により内需主導で緩やかな回復が見られるものの、欧州金融不安に加え、米国及び新興国に景気の減速感が出てきており、先行き不透明な状況にあります。

当社事業につきましては、チタン事業では、国内向けが大型海水淡水化案件の遅延及び原子力発電所案件の後ろ倒し等により販売量が若干減少したものの、輸出向けにおいては航空機向け需要が引き続き堅調に推移したことから販売量は大きく増加し、全体として増販となりました。この結果、チタン事業の売上高は10,796百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

ポリシリコン事業では、半導体需要が依然として調整局面にあるものの、岸和田工場のフル稼働により販売量が大幅に増加いたしました。この結果、売上高は4,854百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

高機能材料事業では、高純度チタンの販売量が半導体需要の調整継続を受けて減少いたしました。この結果、売上高は529百万円(前年同期比35.1%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は、16,179百万円(前年同期比34.1%増)、利益につきましては、営業利益1,734百万円(3.8%増)、経常利益1,499百万円(1.0%増)、四半期純利益912百万円(9.2%増)となりました。

なお、今後の動向につきましては、半導体用ポリシリコンの需要回復が遅れていることに加え、チタン事業において国内需要の減速や輸出航空機向けでサプライチェーン内での在庫消化遅れによる需給調整の動きが見られるなど不透明感が出てきております。

(参考) (単位：百万円)

		当第1四半期	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国内	4,736	4,825	△1.9
	輸出	6,060	3,069	97.4
	計	10,796	7,895	36.7
ポリシリコン事業		4,854	3,351	44.9
高機能材料事業		529	815	△35.1
合計		16,179	12,062	34.1

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期末の総資産の残高は、122,827百万円と前事業年度末と比べ4,378百万円減少いたしました。これは、棚卸資産は増加したものの、現金及び預金、売掛金及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

② 負債

当第1四半期末の負債の残高は、79,366百万円と前事業年度末と比べ4,540百万円減少いたしました。これは、借入金及び設備関係未払金が減少したことが主な要因であります。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産の残高は、43,461百万円と前事業年度末と比べ161百万円増加いたしました。これは、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、2012年4月27日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第1四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

②棚卸資産の評価方法

前事業年度末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第1四半期末の実地棚卸を省略しております。

③税金費用

年間の税引前利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ7百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2012年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (2012年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,524	2,526
受取手形及び売掛金	20,323	18,661
商品及び製品	7,156	7,666
仕掛品	3,242	3,824
原材料及び貯蔵品	5,010	5,852
その他	2,381	1,789
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	42,635	40,318
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,715	15,641
機械及び装置（純額）	46,615	44,588
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	1,655	1,777
その他（純額）	1,422	1,458
有形固定資産合計	81,687	79,745
無形固定資産	786	764
投資その他の資産	2,096	1,998
固定資産合計	84,570	82,508
資産合計	127,206	122,827

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2012年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (2012年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,066	6,894
短期借入金	36,300	33,800
リース債務	1,098	1,177
未払法人税等	89	486
賞与引当金	376	94
設備関係支払手形	375	360
設備関係未払金	2,969	1,634
その他	1,913	2,041
流動負債合計	50,188	46,490
固定負債		
長期借入金	29,450	28,950
リース債務	1,421	1,070
退職給付引当金	1,295	1,338
資産除去債務	1,220	1,226
その他	329	290
固定負債合計	33,717	32,876
負債合計	83,906	79,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,712	25,889
自己株式	△9	△9
株主資本合計	43,385	43,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112	79
繰延ヘッジ損益	△198	△180
評価・換算差額等合計	△85	△100
純資産合計	43,299	43,461
負債純資産合計	127,206	122,827

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2011年4月 1日 至 2011年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年6月30日)
売上高	12,062	16,179
売上原価	8,991	12,836
売上総利益	3,071	3,342
販売費及び一般管理費	1,400	1,608
営業利益	1,671	1,734
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	1
不用品売却益	22	36
受取賃貸料	10	10
補助金収入	92	—
助成金収入	39	46
その他	15	31
営業外収益合計	183	125
営業外費用		
支払利息	144	144
為替差損	219	209
その他	4	5
営業外費用合計	369	359
経常利益	1,485	1,499
特別損失		
固定資産除却損	77	26
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	77	27
税引前四半期純利益	1,408	1,472
法人税等	572	559
四半期純利益	835	912

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,895	3,351	815	12,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,895	3,351	815	12,062
セグメント利益	647	724	300	1,671

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第1四半期累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,796	4,854	529	16,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,796	4,854	529	16,179
セグメント利益	1,503	164	67	1,734

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。